

LEQ 集団活動プログラム《SST》

タイトル	SST
大ジャンル：	言語
中ジャンル：	コミュニケーション
小ジャンル：	社会性・対人関係
使う道具：	PC・プロジェクター・その他ロールプレイ時に必要なもの等
場所	室内
人数	2-
内容	対人関係や社会生活で円滑に過ごすために必要なスキルを習得し、自己対処能力を高めることを目指すプログラム

5 領域

健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性
○		○	○	○

【 流れ (20分) 】

時間	内容	児童の予想される行動	支援員の動き
00:00	<p>活動の始まりの挨拶 「今から活動を始めます。礼。」</p> <p>活動内容 事前に準備しているスライドを紙芝居形式で読みながら流していく</p> <p>途中で子どもたちに 「このときじぶんならどうする？」 と問いかけて意見を聞く</p> <p>中間でグループディスカッションを行いながら進行する ディスカッション (5分) 発表 (2分)</p> <p>グループ分けを行う。</p>	<p>挨拶時は正座をすることができているか。</p> <p>内容説明時などは前を向いて聞くことができているか</p>	<p>挨拶時は正座をするように声を掛ける</p> <p>内容や導入の際には前を向き聞く姿勢を保てるように声を掛ける</p>

	<p>導入 スライドをプロジェクターに投影しながら場面場面で子どもたちの意見を聞きながら進行する</p>		
05:00	<p>ディスカッションをしてもらう場面でシーンを止めて自分ならどうするかを話し合ってもらおう スタッフをファシリテーターにして子どもたちを中心に行う。(5分) 必要な場合は延長する</p>	<p>子どもたちにはグループに分かれて話し合いをしてもらう。 自分の意見を言わない わからないなど</p>	<p>ファシリテーターとして子どもたちから意見を聞きまとめる。 わからないことや自分の意見を言えない児童に対しては噛み砕いて説明して意見が言えるようにサポートをする。 子どもたちから出た意見をホワイトボードにまとめる。</p>
10:00	<p>チーム毎に出た意見を発表してもらう</p>	<p>自分が思ったことをそれぞれグループごとに発表してもらう。 自分の意見を発表ができない。 他のグループは聞く体制ができているか。(立っていないか寝転んでいないか。私語はしていないか)</p>	<p>発表をできるようにサポートや声掛けを行う。 難しい場合は代わりにスタッフが発表を行う。 聞く体制ができていない場合には座って聞くように声を掛ける。</p>
12:00	<p>再びスライドを止めてチームごとにディスカッションを行ってもらう。(5分) 必要な場合は延長する</p>	<p>子どもたちにはグループに分かれて話し合いをしてもらう。 自分の意見を言わない わからないなど</p>	<p>ファシリテーターとして子どもたちから意見を聞きまとめる。 わからないことや自分の意見を言えない児童に対しては噛み砕いて説明して意見が言えるようにサポートをする。 子どもたちから出た意見をホワイトボードにまとめる。</p>
17:00	<p>再びチームで出た意見を発表してもらう</p>	<p>自分が思ったことをそれぞれグループごとに発表してもらう。 自分の意見を発表ができない。</p>	<p>発表をできるようにサポートや声掛けを行う。 難しい場合は代わりにスタッフが発表を行う。 聞く体制ができていない場合には座って聞くように声を掛ける。</p>

		他のグループは聞く体制が できているか。(立っていないか寝転んでいないか。 私語はしていないか)	
19:00	まとめ 出た意見などをまとめて総評 などを行う。	感じたことや思ったことな どを伝えてもらう。	子どもたちの感想を聞いた うえでの総評やまとめ を行う。
20:00	終了の挨拶 これで活動を終わります。 礼。」	正座をしているか。	正座するように声を掛ける。 る。

【実施のポイント】

- ・ 児童の興味関心を高められるように声掛けをする
→モチベーションの維持を保てるようにする
- ・ 興味関心をもてるようなスライドなどを準備する
→子どもたちがあきないようにする
- ・ ただ聞いているだけにならないようにロールプレイやディスカッションを取り入れる
→集中力や想像力を身につけてもらうために子どもたちにも考えてもらったり実践してもら
う時間を作る。

【アレンジパターン】

- 1、ロールプレイを取り入れる
挨拶など実際にやってみてどう感じるかなどロールプレイを取り入れられる活動にはロー
ールプレイを取り入れて体感してもらう。
- 2、賛成派、反対派に分かれてのディスカッション形式
意見が分かれる場合などはそれぞれに別れてディスカッションを行ってみる。